

エネルギーの総合的な学習の推進に関する基本的な考え方(案)に対する県民意見募集の結果とその対応

募集期間：平成14年2月19日～3月4日

意見応募者：10名(男性9名 女性1名)

(福井市2名、敦賀市4名、美浜町2名、坂井町1名、芦原町1名)

No	意見応募者	応募意見等	基本的な考え方(案)への対応
1	男性 (福井市)	<p>こんにちは、ホームページを見ましたので一言、私の意見を送信します。エネルギーの教育をするといっても、本当に問題なのは結局、原子力をどう教えるかだと思う。電力会社の人は原子力発電所がないと電気が足りなくなるようなことをいっているけれど、本当のところはどうなんだろう。<u>(1)原子力発電所の良いところも悪いところも、きちんと学校で教えられ又これらの事を一般社会の人も理解すべきと思われる。一番よくないのは、学習することを妨害したり、うとんじたり、避けたりする風潮があることだと思う。私達は本当にエネルギーや地球環境の事が問題になる時には、何十年の歳月が過ぎ、過去の人となっていると思う、これから大きくなる子供達にとっては、まさしく当事者の問題だ。(2)こんな大人が子供達にできることは、今から子どもがきちんと考えられるように教育することしかないと思う。</u></p>	<p>(1) 本県が多数の原子力施設がある電力生産県であることを背景として、総合的にエネルギー問題を考えるエネルギー教育が重要であるとの考えから、エネルギー学習環境づくりの方向性として3.の で提案している。</p> <p>(2) 教師自身がエネルギーについて幅広く知識を身に付け、児童生徒の教育に反映していくことが重要との考えから、エネルギー学習環境づくりの方向性として3.の で提案している。</p>
2	女性 (福井市)	<p>難しい事がいっぱい書いてありますが、要は福井県の間人は福井県のことをよく知っておく必要があるのだから、<u>エネルギーに限らず自分の住んでいる県・町をしっかりと見つめ直すような教育を進めてください。</u></p>	<p>生活との関わりが理解されること、学校と社会の緊密な連携が重要であるとの考えから、エネルギー学習環境づくりの方向性として3.の 、 で提案している。</p>
3	男性 (敦賀市)	<p>15基の原子炉が設置され、電気エネルギーの大生産地である福井県民として、エネルギーに関する理解を深め正しい認識を持つことは必要不可欠と考える者です。学習環境を整えることに賛同する立場から意見を述べさせていただきます。</p> <p>エネルギー問題は教科横断的な総合的な教育課題であることから、”総合的な学習の時間”の活用を考慮されるが、この教科で取り上げる学習テーマは、教師・生徒の自主性に委ねられると聞いております。そうであれば結果的に”<u>総合的な学習の時間”でエネルギーの学習を一度も学ばない生徒が多数発生すると懸念します。多くの学校で取り入れて貰うためには、エネルギー学習を体系化した標準カリキュラムを示し、総合的な学習の時間数の一部を割り当てさせる施策の追加を検討できないのでしょうか。</u></p>	<p>エネルギー・環境問題は、学習指導要領に基づき一般的な知識について教科の中でも教えられている。学習指導要領によれば、「総合的な学習の時間」は、子どもたちが自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること等をねらいとしている。</p> <p>このため、福井の特色を活かしたエネルギー学習の環境づくりを教育関係者、行政、企業等が連携を図りつつ進めており、エネルギー問題が学習テーマとして、学校や児童生徒に魅力的なものとなるよう工夫する必要があるとの考えから、エネルギー学習環境づくりの方向性として3.の 、 で提案している。</p>

4	男性 (敦賀市)	<p>我国は、エネルギー資源をほとんど有さず、主に輸入によって賄ってきているという現状の中、今後どのように我国自身でエネルギー資源を有効活用し地球環境問題に対応していくかについて、子供たちに必要な知識を付与して行こうということは、とても良いことだと考えます。その上で具体的な取組みについて2点程要望させていただきます。</p> <p><u>(1)外部講師の活用の推進において、講師リストを作成することのだが、講師情報の提供は理解するが、講師派遣料の助成という予算的措置もより効果的に実施する上では必要ではないか。</u></p> <p><u>(2)親子で学ぶ機会の提供において、地域単位子供会にも必要な情報を提供し、地域の中で学習することも必要ではないか。</u></p>	<p>(1)校外の専門家の活用を促進することが重要との考えから、具体的な取組みとして4.の に外部講師派遣への支援を追記する。</p> <p>(2)親子学習等の情報を保護者(P T A等)に提供することが必要との考えから、具体的な取組みとして4.の で提案している。</p>
5	男性 (敦賀市)	<p>エネルギーの総合的な学習の推進に賛同するとして、意見を述べさせていただきます。</p> <p>私の子供(中学生)に、「総合学習って学校でやっているか?」と聞いたら、「やっている」と答えました。テーマは「進路」でした。やはり生徒の反応はいまひとつという感じです。</p> <p>何がどうダメなのかわかりませんが、やはり一番のポイントは子供達に如何に興味をもたせ自主性のもとに学習していかねばならないと思います。そこで具体的な実施方法について記述します。</p> <p><u>(1)限られた時間でどこまで学習(習得)するのか?最終的な目標はというと、やはり「迫りくる人類の危機」を如何に理解するか?理解までもいなくてもせめて意識出来るような人間になってほしいと思います。人口増加に伴って、食糧不足、資源、エネルギー不足、更には地球環境の悪化が重なって最後には人類の危機に陥る、これをどう克服するかというストーリーでこどもたちに年齢に応じた学習内容にしてはいかがでしょうか。</u></p> <p><u>(2)学校との連携に関しては、極力学校の先生に負担をかけないように、行政、企業その他地域社会の協力で実施したほうが良いと思います。</u></p> <p><u>(3)子供達に興味を持たせる工夫としては、失礼ですけど学校の先生ですと学校の延長線というイメージが強いので、社外の雰囲気を出るだけ多く取り込んではいかがでしょう。その道のプロの講師による講演、実際に働いている企業の人の生の声、施設の見学等おもしろ、おかしくできないかなあと思います。</u></p> <p>いま、首相が「・・・改革」と言っていますが、私達自身のライフスタイルの改革(変更)もやっていかねば取り返しのつかないことになりかねないと思います。子供、孫にその次の世代に幸せな暮らしをと思っています。是非成功させてください。</p>	<p>(1)環境問題、資源問題等、幅広い視野にたったエネルギー教育を、児童生徒の発達段階(学年)に応じて行うことが必要であるとの考えから、エネルギー学習環境づくりの方向性として3.の で提案している。</p> <p>(2)学校と社会の緊密な連携は、教師の負担軽減、教育内容の充実の観点から意義があるとの考えから、エネルギー学習環境づくりの方向性として3.の で提案している。</p> <p>(3)外部講師の活用の促進、体験学習施設の利用の促進等が必要との考えから、具体的な取組みとして4.の 、 で提案している。</p>

6	男性 (敦賀市)	<p>「エネルギーの総合的な学習の推進に関する基本的な考え方」を読んで感じたことを述べます。ここに書かれている基本的な考え方には概ね賛同出来ます。特に県内にはエネルギー関連施設が多数あり、エネルギー教育を行う上での環境は整っているようであるが、何となく敷居が高いという印象があり利用しづらい。もっと(1)施設利用や講師派遣等PRすべきところはPRしてほしい。そういった点からも(2)インターネットの活用がしやすいようにサイト集の整備を特にお願いしたい。また(3)体験型学習施設の充実をお願いしたい。</p>	<p>(1)(2)外部講師、施設等、エネルギー教育に関する情報の提供が必要との考えから、具体的な取組みとして4.の 、 、 で提案している。</p> <p>(3)体験型学習施設の利用促進が必要との考えから、具体的な取組みとして4の で提案している。</p>
7	男性 (美浜町)	<p>(1)「本件の子供たちに必要な知識や情報を伝え、云々」とあるが、「3.エネルギー学習環境づくりの方向性」の中の「学校と社会の緊密な連携」、「教育現場の最前線に立つ教師への支援」が非常に大切と考える。まずは<u>伝える側の教育界(学)が県内のエネルギー産業施設(産)、特に原子力発電所を見て理解することが大切。</u></p> <p>(2)次に「<u>エネルギーの総合的な学習検討委員会</u>」で作成された教材や資料は<u>学校内で使っていくための環境づくりも大切。学内でエネルギー・環境問題を教える時間をとることができない限り、無駄な教材となる。この取組に関しては教育界ではトップダウンの姿勢で臨むべきと考える。</u></p> <p>(3)特に<u>原子力発電については、悪いイメージばかりが先行しているが、原爆や放射能をまき散らすものではなく、トリレンマの関係を解きほぐす一つの答えであることをしっかり教えなければならない。</u>福井県に住む我々はエネルギー供給県であることを誇りであることを教えるべき。</p> <p>以上、いくら良い教材や実験道具をそろえてもだめで、学校側の環境づくりが大切と考えます。この取組みが絵に書いた餅で終わらないためにも、教育界の皆様方のご理解をお願いいたします。</p>	<p>(1)エネルギー学習施設の利用促進が必要との考えから、具体的な取組みとして4.の で提案している。</p> <p>(2) エネルギー・環境問題は、学習指導要領に基づき一般的な知識について教科の中でも教えられている。学習指導要領によれば、「総合的な学習の時間」は、子どもたちが自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること等をねらいとしている。このため、福井の特色を活かしたエネルギー学習の環境づくりを教育関係者、行政、企業等が連携を図りつつ進めており、エネルギー問題が学習テーマとして、学校や児童生徒に魅力的なものとなるよう工夫する必要があるとの考えから、4.で具体的な取組みを提案している。</p> <p>(3)本県が多数の原子力施設がある電力生産県であることを背景として、総合的にエネルギー問題を考えるエネルギー教育が重要との考えから、エネルギー学習環境づくりの方向性として3.の で提案している。</p>

8	男性 (美浜町)	<p>本来、福井県は30年以上前から日本初の原子力の火を灯し、原発立地の中心的役割を担って来た訳ですから、今回のこの企画は大変素晴らしい事と考えますが立地地区住民と致しましては、何故もっと早くこの検討委員会を立ち上げて学校教育に、又各企業に声かけできなかったのか疑問に感じます。教育現場に直接教材や本を納入している私だから、感じていた事かもしれません。とにかく立地住民のこういった声が、やっと意見として聞いてもらえるだけでもこのエネルギー学習検討委員会には協力させて頂きたいと考えます。特に<u>(1)学校におけるエネルギー教育には小・中・高.と言わず保育所からこどもや母親たちとも、ふれあい学習を期待しますとともに、(2)中心となるモデル校を美浜町内の候補として(丹生小・中学校や原子力安全システム隣接の東小)などに受け持っていただける方向で検討頂きたいです。</u></p>	<p>(1)子どもと親と一緒にエネルギーについて学ぶことも重要との考えから、エネルギー学習環境づくりの方向性として4.の で提案している。</p> <p>(2)県内の学校において、エネルギー学習環境づくりが推進されることが必要との考えから、4.で具体的な取組みを提案している。</p>
9	男性 (坂井町) * 教員	<p>小学校でのエネルギーに関する学習は、あまり体系的でなく、子どもたちにとっては単なる断片的な知識の一部として認識されているのが現状ではないか。最近、総合的な学習の時間は、教科につながる学習が強調されている。環境分野での学習が考えられるが、身近な地域環境をベースにしたものが多く、エネルギーの分野まで考えるのはなかなか難しい。<u>実生活に結びついたエネルギー学習や、理科などの教科学習の中において、学校では見せられないようなモデル実験等のコンテンツを貸し出す等の支援をしてもらえるとういのではないか。</u></p>	<p>補助教材や啓発機材のリスト作成と、購入への支援が必要との考えから、具体的な取組みとして4.の で提案している。</p>

10	男性 (芦原町) * 教員	<p>(1) 小学校の理科では、電気の学習を4年や6年で行っていますが、そこから発電の仕組みや風力、太陽光発電など未来のエネルギーについての学習にまで発展させることはそれほど難しいことではないと思います。ただしそのような学習にまで発展させようと教師が思わない限り不可能です。 <u>ですから、大きな研究会等でエネルギー学習についての研究発表等があれば、啓蒙されるかもしれません。</u></p> <p>(2) 学習フォーラムの中での指摘や課題の中にもありますが、<u>エネルギー学習の前に自然環境についての学習が大切だ</u>と考えます。総合的な学習には環境をテーマにする学校も多くあると思われます。しかし、バックテストなど児童にとって仕組みのわからないものを使うなどするよりも、まずはじめに、特に中学年では、<u>とにかく自然にふれあう(自然の中で遊ぶ)活動を多く取り入れることが大切</u>ではないでしょうか。学校から帰っても、休みの日でも、ほとんどゲームやスポーツ少年団等の活動に費やされている児童がほとんどだと思うからです。その次に自然を観察する段階、次に調べる段階という風にステップアップしていくとよいのではないのでしょうか。</p>	<p>(1) 発表会等を通じて県内の学校に成果を普及させることが重要との考えから、具体的な取組みとして4.の、で提案している。</p> <p>(2) 環境問題、資源問題等、幅広い視野にたったエネルギー教育を、児童生徒の発達段階(学年)に応じて行うことが必要であるとの考えから、エネルギー学習環境づくりの方向性として3.の で提案している。</p>
----	---------------------	---	---